



各広域振興局の担当区域

盛岡 広域振興局	盛岡市/八幡平市/滝沢市/雫石町/葛巻町/岩手町/紫波町/矢巾町 (3市5町)
県南 広域振興局	花巻市/北上市/遠野市/一関市/奥州市/西和賀町/金ケ崎町/平泉町 (5市3町)
沿岸 広域振興局	宮古市/大船渡市/陸前高田市/釜石市/住田町/大槌町/山田町/岩泉町/田野畑村 (4市4町1村)
県北 広域振興局	久慈市/洋野町/野田村/普代村/二戸市/軽米町/九戸村/一戸町 (2市3町3村)

震災から10年
Twitterや写真展で久慈地域の
復興情報を紹介中 ぜひご覧ください!

県北
エリア

東日本大震災津波の発災以来、県や国、市町村は県内775カ所で、防潮堤・水門の復旧・整備、土地のかさ上げや道路の整備などの復旧・復興事業を進めてきました。そのうち92.6%に当たる718カ所で工事が完成しています。(2020年11月20日時点)

久慈地域を所管する県北広域振興局は、震災から10年を迎えるのを機に、復旧・復興事業の情報発信を強化し、Twitter「北いわて復興情報ch.」で工事現場の様子やインフラ整備状況を紹介しています。

現地を見ることは難しい状況が続いていますが、遠くにお住まいの方でも、ウェブ上で、久慈港湾口防波堤や三陸沿岸道路の久慈大橋、安家トンネル付近(野田村)など、普段は立ち入ることができない工事現場の様子を知ることができます。

県北広域振興局の担当者は、「国などにも協力していただき、復興事業の最前線を撮影しました。写真から、復興を実感してほしい」と話します。

また、Twitterで配信された写真は、二戸地区合同庁舎(3月31日まで)と久慈地区合同庁舎(4月1日~4月30日)で展示します。

今しか見ることができない、復旧・復興事業の様子をぜひご覧ください。



ケーソンの据付が進む久慈港湾口防波堤。津波の被害を最小限にするほか、湾内の波を穏やかにする効果も



整備が進む三陸沿岸道路の久慈大橋。3月中の開通を目指し、工事は急ピッチ



北いわて復興情報ch. (Shimokita, Iwate) 震災から10年を迎えるのを機に、復興事業の情報発信を強化し、Twitter「北いわて復興情報ch.」で工事現場の様子やインフラ整備状況を紹介しています。



「北いわて復興情報ch.」
Twitter
復興情報ch.

魅力的なスポットも続々オープン
春のおでかけは
整備が進む「三陸沿岸道路」で

沿岸
エリア

全線開通に向け整備が進む「三陸沿岸道路」。沿岸地域を南北につなぐ道路の周辺には新しい施設やお店が相次いでオープン。注目のスポットを紹介します。

田野畑村では、道の駅たのはた(愛称「思惟(しい)の風」)が、3月末にオープンします。名産品の販売や地元食材レストランなど魅力ある観光施設でありながら、子育て交流、広域防災拠点など、地域振興の拠点としての役割も担います。キャンピングカー専用スペースや、隣接地に設置予定の古民家を改装した村営の簡易宿泊施設など、泊まれる道の駅としても注目です。最寄りIC(村内の三陸沿岸道路全通後)は、(仮)田野畑南ICもしくは(仮)田野畑ICです。



村の山並みをイメージした施設外観



木のぬくもりが心地いい「カモシー」。館内には発酵パワーがいっぱい



豚ロースのもろみ焼き御膳

また、「陸前高田長部IC」から北に車で5分。「陸前高田発酵パークCAMOCY(カモシー)」は、3月末にグランドオープンします。昨年12月のプレオープンではベーカリー、チョコレート工房、発酵食堂など、「発酵」をテーマにしたユニークさで話題でしたが、ビール工房での初搾りも行われ、いよいよフル稼働。

3月は「グランドオープンマンス」として、宮城・福島の沿岸部の物産品も販売し、津波で被害を受けた地元集落「今泉」のまちびらきを盛り上げます。

春休みやゴールデンウィークは、三陸沿岸道路を使ってお出かけしてみませんか。



「さんりく旅するチエック」で観光情報を

4 広域振興局からのお知らせ

広域振興局とは、地域振興、産業振興、保健福祉など、広域的な課題に取り組む岩手県庁の総合出先機関です。県内にはエリア(広域振興圏)ごとに、「盛岡広域振興局」「県南広域振興局」「沿岸広域振興局」「県北広域振興局」の4つの広域振興局が設置されています。この4つの広域振興局から折々のお知らせをお届けします。

国立天文台水沢とILCが連携
科学する心を育む
「宇宙×ILC」コラボイベント開催

県南
エリア

120年の歴史を誇り、数々の偉大な功績を重ねてきた「国立天文台水沢」。そして現在、岩手県が誘致に力を注ぐ、宇宙誕生の謎を解明する研究施設「国際リニアコライダー(ILC)」。この両者がコラボしたイベント「宇宙×ILC」が県南各地で開催されました。



いちのせきサイエンスカフェで講演する本間さん

図書館など県南広域振興局管内8カ所の施設では、特別企画展を開催。宇宙やILCに関する書籍やポスター、宇宙のことを楽しく学べるグッズの展示や講演会、ワークショップが行われました。

1月23日に一関市内で開催された「いちのせきサイエンスカフェ」では、国立天文台水沢VLBI観測所・所長の本間希樹(ほんま まれき)さんも登場。国立天文台水沢の歴史、最新のブラックホール研究の成果を紹介してくれました。

本間さんは、2019年、世界で初めてブラックホールの撮影に成功した国際プロジェクトで日本の研究者チームの代表を務めたことでも有名。撮影成功の快挙を、水沢から全国に伝えたニュース映像も記憶に新しいところです。



国際リニアコライダー(ILC)は、国際協力によって設計開発されている次世代の直線型加速器。世界100カ国からトップクラスの研究者が北上山地に集まり、研究を続ける国際研究拠点となることが期待されています。

科学する心を育む一連のコラボイベントは3月初旬で終了していますが、ILCの誘致活動は継続中。岩手が世界に向けてアピールする、この壮大な取り組みに、これからも注目していきましょう。



ILCの情報は
こちら

岩手県 ILC 検索

子ども一人一人に寄り添い
学習と生活の両面をサポート
安心して子育てできる環境へ

盛岡
エリア

盛岡広域振興局は管内の5町(雫石町・葛巻町・岩手町・紫波町・矢巾町)で、子どもの学習の機会を確保するため、小学生から高校生までを対象にした「子どもの学習・生活支援事業」を行っています。学習習慣が身につかない、勉強に集中できる場所がないなど、子どもの学びや生活に関する悩みはさまざま。2014年から安心して学べる環境づくりと学習サポートを継続してきました。



一人一人のペースに合わせて行う学習会

2020年度は、県内で学習支援に取り組む一般社団法人ふたばが担当。コロナ禍という制約のなか、公民館などの施設で開く学習会や小学生のいる家庭の巡回訪問をベースに、さまざまな活動を展開。教員経験者などのチーフサポーターと福祉や教育職を目指す大学生サポーターが、子どもたち一人一人に寄り添いながら学習・生活の両面を支えています。

「子どもの将来の選択肢を広げることを大きな目標として掲げています。まずは心の居場所を整えることが大事。それによって、学ぶ力が育ちます」と、理事の松岡あゆみさん。「前より勉強が好きになった」「優しく話を聞いてくれるのがうれしかった」など、参加した子どもたちの声がその成果を物語っています。

この事業は2021年度も継続する予定。詳しくは盛岡広域振興局にお問い合わせください。



今年度、コロナ禍の影響でできなかった大学見学会の代わりにリモートオープンキャンパスを開催



盛岡広域振興局